

農業後継者育成基金事業

平成26年度農業青年グループ等育成事業

事業主体名 伊佐YADクラブ

1 目的

本助成事業を活用し、県外の優良経営事例の調査及び、伊佐地域の主力品目である伊佐米や金山ねぎ等の産地PR活動、地域内農業高校生との交流活動など事業内容を拡大し、会員の資質向上を図るとともに、地域農業の振興に貢献する。

2 実施状況

(1) 伊佐農林高校との交流会の開催

2月9日、伊佐農林高校の農業技術科2年生と交流会を行った。会には農業青年9名と生徒26名が参加し、活発な意見交換を行った。話題は、農業青年の就農経緯や経営の現状、生徒の将来の夢、就職や進学への相談等。

高校生の進路選びの参考となり、地域農業の理解促進も図られた。



伊佐農林高校生と交流

(2) 各種イベントで伊佐の農産物をPR

- ①伊佐新米祭り(10月31日～11月2日)
- ②伊佐市ふるさと祭り(11月8日～9日)
- ③イオン産直市(1月17日～18日)

伊佐の農産物をデザインしたハッピーを作成し、伊佐米や根深ネギなど販売、伊佐の魅力をPRした。



イオン産直市で伊佐米をPR

(3) 県外視察研修を実施

1月22～23日、熊本県の手農業機械メーカーを視察調査し、大型機械を活用した水田農業(WCS生産や飼料用米など)の先進事例や農作業安全対策等を研修

先進事例に接して、伊佐地域の水田農業の課題や可能性を認識。各青年の経営展開の貴重な情報となった。



機械メーカーで先進事例研修

3 今後の課題、取り組み

引き続き、プロジェクト活動や先進事例調査等の経営能力向上のための活動や、地域イベントへの協力、地域農産物PRなど地域振興活動に積極的に取り組む。